

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	豊中・東泉丘プロジェクト I 新築工事	階数	地上5F
建設地	大阪府豊中市東泉丘4丁目	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、法22条	平均居住人員	50 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年1月 予定	評価の実施日	2017年2月14日
敷地面積	1,617 m ²	作成者	藤井 一弘
建築面積	553 m ²	確認日	2017年2月14日
延床面積	2,202 m ²	確認者	嶋村 邦彦



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	91%
③上記+②以外の	91%
④上記+	91%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	現状の傾斜をできるだけ利用し又緑化に努め、周辺環境に配慮した。	
その他	特になし	
Q1 室内環境	食堂等のスペースには、昼光の利用に努めた。喫煙ブースの設置。	Q2 サービス性能
Q2 サービス性能	バリアフリーの対応や廊下等には手スリを設け、安全に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内)
Q3 室外環境(敷地内)	造成等による法面は芝等で保護し、緑化に努めた。	その他
その他	特になし	
LR1 エネルギー	有効な採光。照明はLEDを採用。	LR2 資源・マテリアル
LR2 資源・マテリアル	雨水の自然浸透に考慮し、タイルやアスファルトの利用を抑え、芝等で対応した。	LR3 敷地外環境
LR3 敷地外環境	景観に配慮し、エアコンの室外機はバルコニー手摺の内側とした。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0147

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】	建物名称	豊中・東泉丘プロジェクト I 新築工事					
	建設地	大阪府豊中市東泉丘4丁目3729-1の一部他					
	用途/区分	集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B-	
	CO2削減					3	
	省エネ対策					2	
	みどり・ヒート アイランド対策					3	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告					対象外	

【評価項目】							
省エネルギー対策		① CO2削減					
		② 省エネ対策					
項目		評価内容			スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			3.3	3	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体	2.0	2	
				住戸・宿泊	3.0		
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価			3.0		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価			2.0		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価			3.1		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価			2.0		
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価			2.2		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	-	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策					
項目		評価内容			スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			2.0	3	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			3.0		
その他							
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項		
特に配慮した事項							